



■被災地出張授業……2014年 1月24日

これからの社会で求められる人材

講師：山岡 建夫（JUKI 最高顧問）

2014年1月24日、IPPO IPPO NIPPON プロジェクトによる被災地出張授業が行われた。今回は、山岡建夫監査役(当時)が宮城県東松島高等学校を訪れ、今後の日本社会で求められる人物について、またそのためになすべきことについて、生徒たちに語った。



社会人として働くことはプロになること

「社会人になる」とは、どういうことでしょうか。よく「プロフェッショナル」や「アマチュア」という言葉を耳にするとと思います。辞書で調べると、プロフェッショナルは「玄人、専門家、本職など」とあり、アマチュアは「素人、職業とせず趣味でやる人など」と説明されています。多くの人は社会人になると、仕事をして収入を得るといった身分になります。趣味でやるなら厳しいことを言われたり、批判を受けることはありませんが、スポーツなどプロであれば、プロらしい活躍をしないと厳しく非難されます。それは、専門家として収入を得ているからです。皆さんも就職したら、仕事をして収入を得るので、プロとして努力してくだ

さい。その自覚を持つか持たないかが、その人の人生を決めます。

面接試験で評価が高かった人は仕事で活躍する人になる

入社した人にはプロとして活躍してもらわなければなりませんから、企業としても入社試験は真剣に行います。

入社試験の評価と、実際に入社して活躍した社員との関係を調べた調査報告があります。それによると、活躍した社員は入社試験での面接の評価が高かったということが、分かりました。

筆記試験は正解でなければ減点ですが、面接試験では正解でなくても、間違いを指摘されたときの態度が良く、爽やかで好感の持てる人は良い評価をされます。そして実際に入社した後も、周囲の信頼を得て活躍しています。

一方で、最も困るのは、今まで何をやってきたのか分からない人です。面接で話を聞くと、どんな学生生活を送ったのか、入社して会社で10年後、20年後にどんな仕事をしてくれるのか、イメージが湧く人とイメージがでない人がいるのです。

どうぞ、皆さんも充実した学生生活を送って、面接試験でたとえ質問に十分に答えられなくても「信頼できる人」「努力する人」と思ってもらえるような人になってください。

国際社会における日本

次に、現在の世界における日本の状況をお話しします。1991年ごろ、当時の世界人口は約53億人で、そのうち電子機器、自動車などの工業製品を国際市場に向けて作る仕事に携わっている人は、日本、欧米など約6億人でした。しかし、2010年には、世界人口が約69億人になり、工業製品製造で働く人は約30億人。20年前には加わっていなかった、中国、インド、台湾、ベトナム、ブラジル、メキシコ、最近ではインドネシアも加わるようになりました。

それぞれの国が自国で作ったもの、産出したものを他国に輸出して、その代金で自国に必要なものを輸入しています。

こうした状況の中で、日本の製品を世界の多くの人に買ってもらうには、競争力のある、品質の優れた製品を作ることと、外国の人たちとの交流を活発にすることが重要です。

世界語となった英語でのコミュニケーション能力

外国に行くと、よく日本人は勤勉で、約束を守る、信頼を裏切らないなどと言われます。私が2011年4月に中国に行った時も、「東日本大震災での日本

人の振る舞いは、本当に素晴らしく感動した。被災地で救援物資を受け取る時も、子どもやお年寄りを優先し、大人は我慢して整然と並んでいた。救出される時も、そうだった。他国や中国ではまず無理だ」と涙を浮かべて言われました。

そうした評価がある一方で、日本人は何を考えているのか分からないとも言われます。それは、国際語となった英語が苦手だからです。

私も中学から大学まで10年間英語を学びましたが、会社に入ってアメリカに赴任した時には、まったく英語が通じませんでした。それでも、日本人が一人もいない村で生活していると、何とか意思疎通ができるようになりました。

皆さんもできればいつか、ツアーでなく、往復の飛行機チケットとホテルだけを予約するような、海外旅行を試してみてください。そして簡単な英会話を試してみてください。実際に経験するのが一番良いのです。



学校で学んだ「知識」を「知恵」に

アメリカにおける高校生の評価基準について、経済同友会で意見交換をしたことがあります。アメリカでは、「ユーモアのセンス」「他人に対する温かさ」「自信」「挫折からの回復力」という項目がありました。人間として信頼でき、挫折してもすぐ立ち直る人間力というものを高く評価するのです。

総合評価は勉強が50点、課外活動が

50点で合計100点です。勉強だけでなく、課外活動をしっかりと行っていることが重要なのだそうです。

学校で学んで「知識」を得ることは大切ですが、それに加えて課外活動によってさまざまな経験と努力をすることで、「知識」が「知恵」になります。社会人として活躍するためには、学んだ「知識」を「知恵」にすることが期待されます。豊かな学生生活を送って、たくさんの「知恵」を身に付けてください。

生徒の感想

●JUKIで作る製品についても詳しく語ってくださり、物を作ることは素晴らしいことだと思いました。そして、人として大切なこと、必要とされることについても学びました。

●普段がかわることのない社会の話や、世界から見た日本や日本人のこと、優れている点や欠点など、多くのことを知ることができて良かったです。

●私は受け答えが苦手なので、面接が嫌いでした。しかし、社会でやっていくにはコミュニケーションが大切だと分かったので、これからは精進していきたいです。

●面接などで、必要な人材と思われる良い印象を相手に与えられるような人間になるために、これからは工夫していきたいと思いました。

●内容は難しかったですが、国際的な人間が必要とされていることが分かりました。これからは自分も、日本人としての座標軸を大切にそれを伸ばしていきたいです。

●勉強以外にも、自分をアピールできる実力と表現力が

必要だと思いました。

●これから社会に出ていくには英語が必要だということが分かりました。将来にかかわるので、勉強になりました。これからも将来について考えていきたいと思います。

●英語は学ぶだけでなく、実際に外国に行って使わないとだめだということが分かりました。

●話を聞いて分かったのは、英語やコミュニケーションの大切さです。外国ではコミュニケーション力が成績に含まれるなど、日本と外国の違いをあらためて実感しました。

●私は日本人だから英語はあまり必要ないと思っていたけれど、社会に出ると外国人と話す機会が多くなるので、英語は大切だと思いました。これからは英語が話せるように頑張って勉強します。

●実体験を交え、日本人の対外コミュニケーションの問題点や、日本人の美点や欠点について話していただきました。今のうちにやっておいた方が良いことについては、大変参考になりました。